

Picosmos Toolsで写真を楽しく便利に!

ページのデザイン -1-



このツールの最初に持て来ている機能ですから特徴的な機能が色々あるのですが、メインの機能よりもサブ的な機能に面白いものがあります。メイン機能は3種



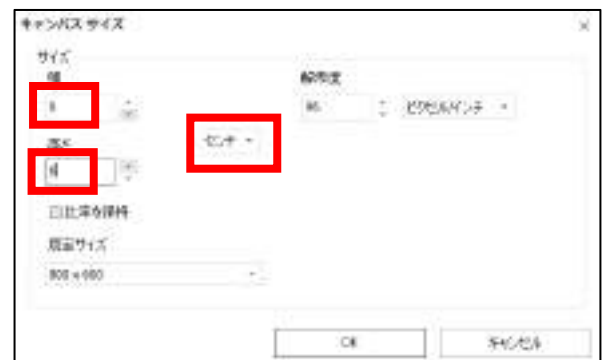
それぞれクリックして確認して下さい

「特徴」

- ①テンプレートとシーンページの手の平マークをダブルクリックして自分のパソコンの中から写真を選ぶことで、その位置に写真が挿入される
- ②枠の形と挿入された写真の形が違う場合は表示位置を右下のイメージを動かすことで位置調整出来る
- ③「写真を追加」から複数写真一括挿入可能
- ④挿入された写真はテンプレートを変えても、シーンページや自由シーンページに変えても継承される
- ⑤全てのパターンで「キャンバス」から背景を色背景・写真背景・透明背景に変えることが出来る。特に、透明背景（自動透明度）は利用価値大!
- ⑥キャンバスサイズを既定サイズ 24 種類もしくは自由設定で変更することが出来る
- ⑦テキスト文字は基本スタイル 48 種類に拡張として「テキスト効果、輪郭線、陰影」を加えることで独自のデザイン文字を作ることが出来る



- ⑧作成した文字列の修正は、その文字をダブルクリックすれば作成時点の画面が開き、変更修正可能
- ⑨保存は拡張子「png」を選べば透明背景維持出来る
- ⑩作業状態を保存は「Picosmos Tools(*.PTImage)」で保存して、開いてから歯車マークをクリックして「編集」を選ぶことで編集可能になる
- ⑪枠に写真挿入しないで保存した場合は「見えている状態のまま」保存される
- ⑫枠内の色を変える方法はなく、必要ある場合はその色の写真（背景色）を作成して、写真として挿入するしかない。印刷後にその部分に手書き文字を加えたい場合は白地画像を準備して貼り付け、余白も白設定にしておく綺麗な白地部分を設けることが出来る
- ⑬右端には素材があり 11 種類、それぞれに内部フォルダがあり相当の数の素材が準備されている。図柄をクリックするとマル+が出るので、それをクリックすることで挿入出来る（拡大縮小回転可能）
- ⑭素材を word に利用可能（右端虹がそれ）。素材数多く質的にも高いですから利用価値大！
 - ・自由シーンページを選ぶ
 - ・キャンバスから自由透明度
 - ・素材を挿入する
 - ・キャンバスから幅・高さを指定すると無駄のないサイズに出来る。ピクセルではなくセンチのほうがイメージし易い



- ・キャンバス内に収まるようにサイズ調整
- ・拡張子 png で保存する



*word にある文字間隔調整と文字列を弧形にする機能がないのが残念！

「どこにでも貼付け出来るタイトル文字作成」

ツールとしては何処にも表示ないが応用として使ってみると細かな設定が出来、類似描画のソフトにはない独特な文字列を簡単に作る事が出来る。

実例文字

トッピング&分割

**ページのデザイン
編集
結合**

①自由シーンページ選択

②キャンバスを文字列サイズに縮小する

*キャンバスから「キャンバスサイズ」を選択

*1行の長方形サイズ 例えば

700×60px (後で変更加)

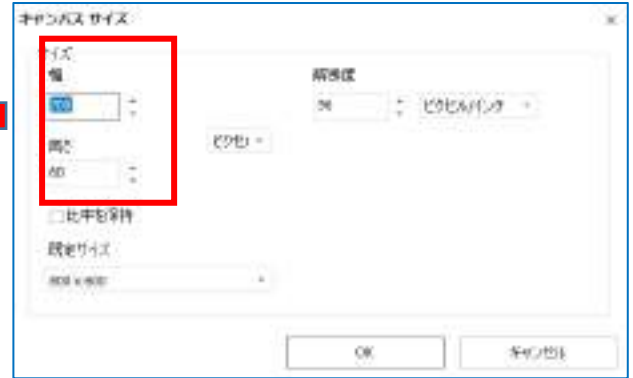
比率保持のチェックを外しておく

OK



③再度キャンバスを開き「自由透明度」をクリック

ゼブラ模様の画面、これが透明背景です



④テキストをクリック



最初に行うことは

*フォント選択..... 24

*フォントサイズ選択...

HGP 創英角ポップ体

*文字入力.....

写真を楽しく便利に

*文字デザイン選択.....

一番下の左から3番目

*作成出来た画面



⑤修飾を加える

*文字列の上でダブルクリック

*テキストの設定画面が開く

*拡張タブ (テキストタブの右側) をクリック

*文字列と設定画面が見える位置にドラッグして作業すると変化が目に見えるので便利

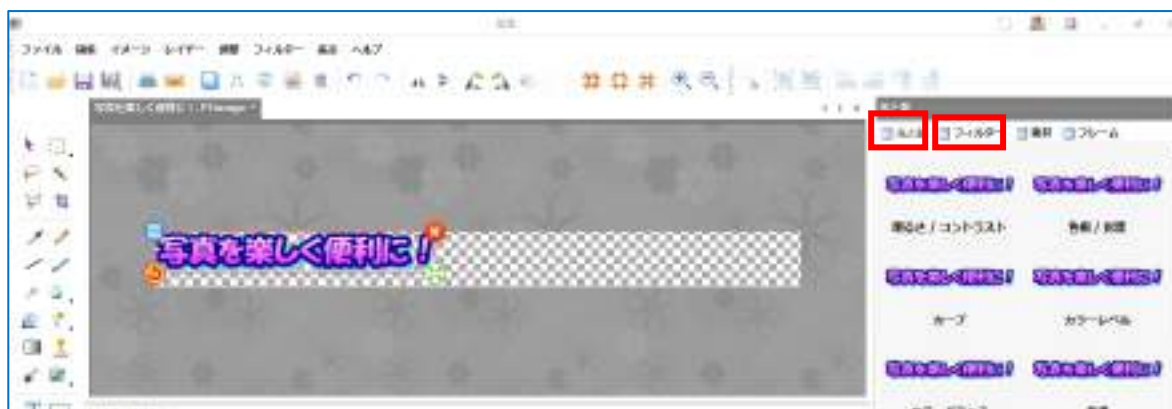


- *操作と同時に変化しますから、変化を見ながら色々触ってみてください
- *取敢えず気に入ったデザインになったならば、名前を付けて保存から「拡張子 PImage」で保存しておく。再度この状態からの修正が可能になります。

*文字間隔を調整する能はありません。



⑥このソフトが自動で各種調整した状態が右側に表示されている 32+34 種類表示



- *選んでクリック
- *メッセージが出るのでOKする(画面が変わるだけ)
- *変化した画面を見る
- *キャンセルをクリックして次の種類を選ぶ (OK しない限り大丈夫です)
- *中には強度調整画面が出るものもある
- *気に入ったものがあればOKする

⑦文字を余裕を持ってキャンバス左に移動し、キャンバスサイズを縮小する (キャンバスと文字列は一体になって保存される仕組みです) 保存した拡張子 PImage から編集を選んでの作業では「キャンバスサイズ」はイメージタブの中にあります。

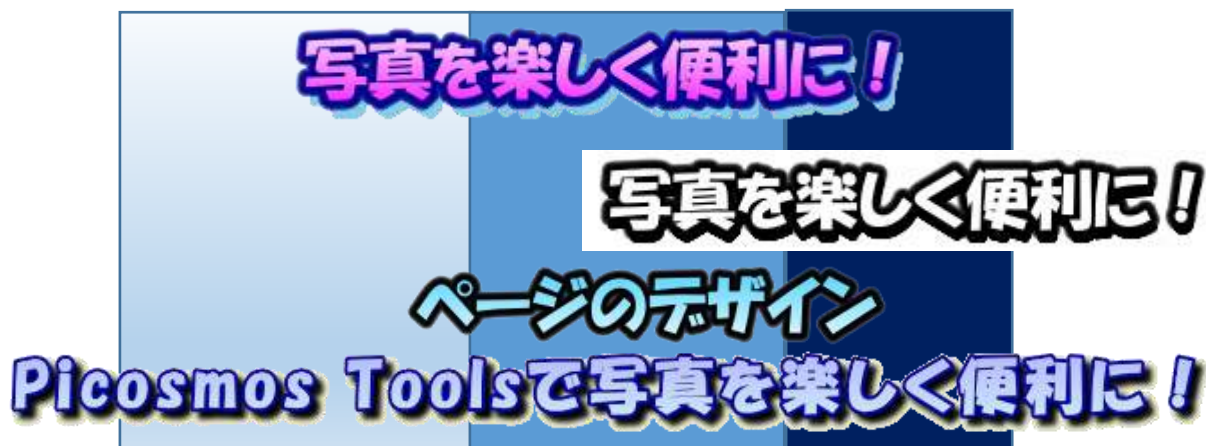


変化を見ながらの操作が出来ません、少しずつ行う



⑧保存は拡張子 png で行う (jpg にするとキャンバスが透明ではなく白色になる)

⑨貼付け例 2列目は jpg 保存のもの



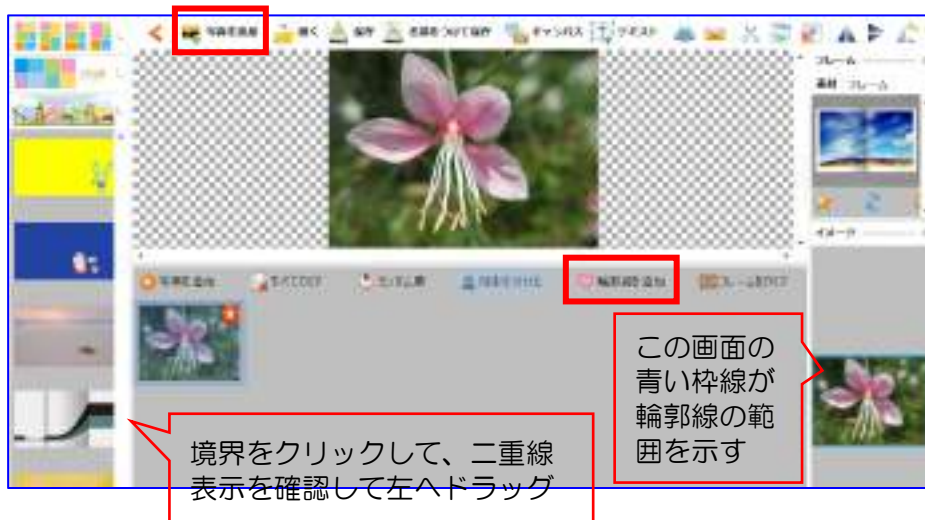
「どこにでも貼付け出来るハート形等図形、アイコンへの適用も」

写真をハート形等に切り抜き出来るものは少なく、ワードが可能ですが画像配置や他へ利用するための単独取出しが難しい難点がありました。Picosmos Tools では自由に切り抜けるだけでなく、アイコンへ適用可能な拡張子 ico で保存することも可能です。尚、切り抜き自体は編集画面でも出来るのですが、画像位置自由はこのページのデザイン編だけです。

- ①自由シーンページ
- ②キャンバス⇒自由透明度



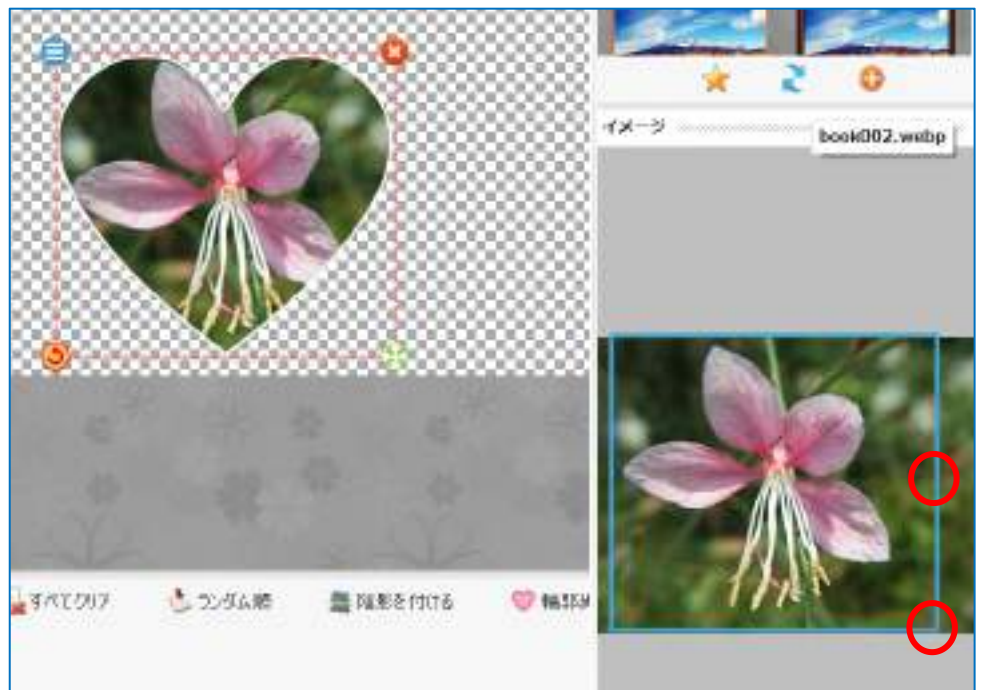
- ③写真を追加
- ④「輪郭線を追加」をクリック：中央下部画面をいっぱいには広げないとこのボタン見えてきません。全画面表示しても見えてこない場合は、左右をこのように狭めると見えてくる。



- ⑤ハート形を選ぶ：もっと種類が多いと良いのですが
利用価値があるのは、○□♥形くらいです
*ハート形に切り抜かれる



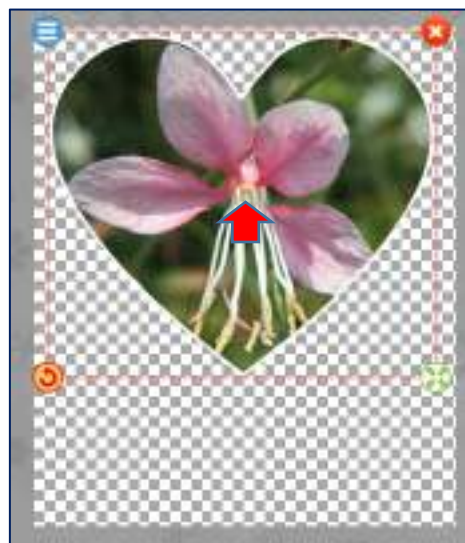
- ⑥右画面の青線を動かすことで、ハート形の縦横位置、花の表示位置を変えることが出来る。青四角の「辺」を触ると形を縦横比を維持した拡大縮小、「コーナー」を触れば縦横比を変える拡大縮小。中央ドラッグは表示位置移動。 これらを使い分けてハートの形と画像の表示位置を好みに合わせる！



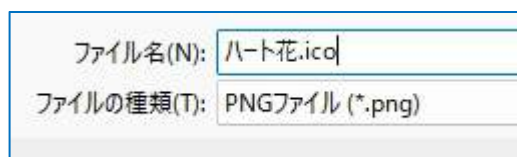
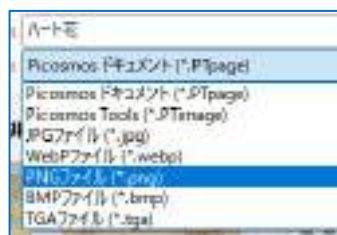
- ⑦キャンバスをハート形まで小さくする：画面を見ながらの調整になる
*キャンバス⇒キャンバスサイズをクリック
*比率保持のチェックを外し⇒幅に 650 入力⇒OK
*このようにキャンバス外になったなら、画像をドラッグする



- ⑧画像をキャンバス上まで移動する
- ⑨キャンバスがハート下位置までなる縦数値を入力する（キャンバスがオーバーしている場合は小さい数値を、逆にキャンバスが小さい場合は大きい数値を入力）
丁度良い位置になるまで何度も繰り返す



- ⑩名前を付けて保存
通常は拡張子 png を選んで保存
アイコンとして使う場合は拡張子を手書きで半角「ico」と入力して保存する



フォルダに適用するとこのように表示される
勿論、png で文書・写真への貼付けも可

